



特集

阿歴内地域 開拓100周年

阿歴内地域開拓から今年で100年。

5月31日に阿歴内開拓100周年記念式典・祝賀会が開催され、約170の方が参加し、盛大に100周年を祝いました。阿歴内地域はさらなる発展へ歩み続けます。

平成		昭和								大正			
27年	11年	63年	60年	52年	50年	40年	21年	14年	4年	10年	7年	6年	4年
開催	阿歴内開拓100周年記念式典	阿歴内地域振興会防災組織設立	阿歴内開拓70周年記念行事式典開催	阿歴内公民館が新築	阿歴内消防班創設	阿歴内開拓50周年記念式典開催	戦後入植者として西和に13戸入地	阿歴内開拓25周年記念行事式典開催	阿歴内郵便取扱所設置	本願寺派阿歴内説教所開設	別保団体、士別団体が入地	福島団体、宮城団体、大河原団体が入地	11戸の集団移民入植開始

阿歴内の沿革



祝賀会	フォト
様子	式典



1. 記念式典後に開催された祝賀会のアトラクション／2. 釧路アップルシャベルズの皆さんと参加者との演奏
3. 阿歴内小中学校の子どもたちが童謡「ふるさと」を合唱

アレキナイの由来

地名の由来はさまざまな学説がありますが、阿歴内開拓25周年記念誌によると、アイヌ語の芽の生えている所を意味する「サリキウシナイ」から由来していると言われています。「サリキ」は茅「ウシナイ」は見渡す限り生えている川という意味で「ヨシが群生している沢」という意味だそうです。

ヒストリー

阿歴内地域の歴史が始まったのは大正4年、酒見澤一郎氏ら13名が阿歴内地域に入植し、昭和20年までに450戸ほどの移住者が入植しました。

入植初期、阿歴内地域は斜面が多く、畑作に適さない土地のため、馬産の神と呼ばれた神八三郎氏の指導により、馬産を中心に有畜農業経営を進め、釧路管内有数の馬産地として広く知られていました。

大正11年、高橋源平氏ら25人が現在の農業協同組合にあたる産業組合を設立し、昭和5年東阿歴内地域に初めて乳牛が導入されました。そして、昭和26年に貸し付け牛仔返し制度により約50頭の乳牛が導入され、これが阿歴内地域の酪農の基盤となりました。

思い出アルバム



開拓50周年祝賀会



昭和16年 阿歴内神社にて



昭和6年頃 開拓共同作業のひとコマ



昭和60年頃の阿歴内市街



昭和45年 移動手段は馬車



昭和43年頃の牧草作業風景